

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和元年度

1 基本情報

公の施設名	淵野辺公園、相模台公園、古淵鵜野森公園、銀河アリーナ、サーティーフォー相模原球場(相模原市立相模原球場)、大野台南テニスコート
指定管理者名	淵野辺公園グループ運営共同企業体 (構成団体:公益財団法人相模原市まち・みどり公社、美津濃株式会社、株式会社パティネレジャー、東海体育指導株式会社)
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)
施設設置条例	○相模原市都市公園条例 ○相模原市立相模原球場条例 ○相模原市立グラウンド等体育施設に関する条例
施設の設置目的	○公共の福祉の増進に資する。(都市公園法第1条) ○市民の憩いの場及び市街地のみどりの創出を図るとともに、運動施設を有する都市公園として、スポーツの振興及び市民の健康増進を図る。 ○生涯スポーツ社会の実現や豊かなスポーツライフの実現(平成23年3月:相模原市スポーツ振興計画) ○スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、市民の健康で文化的な生活の向上に寄与すること。(相模原市立相模原球場条例第2条) ○スポーツの振興及び市民の体力と健康を増進するため(相模原市立グラウンド等体育施設に関する条例第2条)
施設概要	<p>【淵野辺公園、銀河アリーナ、相模原球場】(運動公園)</p> <p>○所在地:中央区弥栄3丁目1番(15.7ha) ○供用開始日:昭和62年3月29日 ○主な施設:テニスコート(12面)、野球場、少年野球・ソフトボール場(ひばり球場)、ジョギングコース、芝生広場、樹林広場、中央広場、アイススケート場、トレーニング室、会議室</p> <p>【相模台公園】(近隣公園)</p> <p>○所在地:南区桜台21番(1.38ha) ○供用開始日:昭和45年4月1日 ○主な施設:テニスコート(2面)、軟式野球場、遊具広場</p> <p>【古淵鵜野森公園】(地区公園) ※斜面緑地は指定管理エリア外</p> <p>○所在地:南区鵜野森1丁目25番1(4.82ha) ○供用開始日:平成18年4月1日 ○主な施設:屋外水泳プール、グラウンド、樹林地、むつみの森(遊具広場)</p> <p>【大野台南テニスコート】</p> <p>○所在地:南区大野台3-45-152(0.63ha) ○供用開始日:平成19年11月 ○主な施設:テニスコート(4面)</p>
施設所管課	公園課、スポーツ課

2 管理実績

項目（単位）		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
淵野辺	【ひばり球場】 利用者数合計	16,997	16,772	15,025				
	【テニス場】 利用者数合計	105,570	104,853	87,001				
銀河	利用者数合計	237,386	228,464	154,848				
相模台	【軟式野球場】 利用者数合計	10,610	8,684	7,236				
	【テニス場】 利用者数合計	14,291	14,494	12,413				
古淵	【プール】 利用者数合計	17,355	19,280	16,473				
	【グラウンド】 利用者数合計	35,930	39,327	35,910				
相模原球場	【グラウンド】 利用件数合計	859	803	706				
	【グラウンド】 来場者数合計	88,537	74,017	83,029				
	【体育室】専用 利用件数合計	357	361	320				
	【体育室】一般 利用者数合計	9,442	9,769	7,917				
大野台	利用者数合計	29,479	29,991	26,645				
利用料金合計（円）		150,280,631	139,946,493	122,111,004				

3 成果指標の達成度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
C	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、スポーツ施設を約1ヶ月間閉鎖したことが、目標を達成できなかった主な要因となる。しかし、通常どおりの営業であっても、目標を達成できない施設が多かったことが想定されるため、利用者の増加につながる取り組みに努めていただきたい。特に、ひばり球場、相模台公園軟式野球場においては、特に平日の利用が少なく、利用率が低くなっているため、事業の実施等、新たな取り組みを期待したい。

指標1	淵野辺公園
指標名（単位）	テニス場利用件数(件)
指標式と指標の説明	達成度＝実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※実績件数は1コマ(2時間)を1件としてカウントする。 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（単位）	20,000	21,000	21,000	21,500	22,000	22,500	23,000
実績値（単位）	21,303	21,357	17,826				
達成度（%）	106.5%	101.7%	84.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標2	淵野辺公園
指標名(単位)	少年野球・ソフトボール場(ひばり球場)利用件数(件)
指標式と指標の説明	達成度=実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※実績件数は1コマ(2時間)を1件としてカウントする。 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	500	550	550	600	650	700	750
実績値(単位)	566	494	487				
達成度(%)	113.2%	89.8%	88.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標3	銀河アリーナ
指標名(単位)	アイススケート場一般利用人数(人)
指標式と指標の説明	達成度=実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	103,000	100,000	100,000	102,000	104,000	106,100	108,200
実績値(単位)	98,493	91,306	67,519				
達成度(%)	95.6%	91.3%	67.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標4	銀河アリーナ
指標名(単位)	トレーニング室利用人数(人)
指標式と指標の説明	達成度=実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	46,000	53,000	53,000	58,300	64,200	73,800	84,900
実績値(単位)	52,689	49,561	44,673				
達成度(%)	114.5%	93.5%	84.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標5	銀河アリーナ
指標名(単位)	アイススケート場特別専用利用件数(件)
指標式と指標の説明	達成度=実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目(単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値(単位)	900	1,000	1,000	1,020	1,040	1,060	1,080
実績値(単位)	1,055	1,094	838				
達成度(%)	117.2%	109.4%	83.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標 6	相模台公園
指標名 (単位)	テニスコート利用件数(件)
指標式と指標の説明	達成度＝実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※実績件数は1コマ(2時間)を1件としてカウントする。 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (単位)	2,000	2,000	2,000	2,100	2,150	2,200	2,250
実績値 (単位)	2,267	2,281	1,942				
達成度 (%)	113.4%	114.1%	97.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標 7	相模台公園
指標名 (単位)	軟式野球場利用件数(件)
指標式と指標の説明	達成度＝実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※実績件数は1コマ(2時間)を1件としてカウントする。 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (単位)	400	400	400	410	410	420	420
実績値 (単位)	403	392	314				
達成度 (%)	100.8%	98.0%	78.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標 8	古淵鵜野森公園
指標名 (単位)	屋外水泳プール利用者数(人)
指標式と指標の説明	達成度＝実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (単位)	25,000	25,000	20,000	21,000	21,500	22,000	22,500
実績値 (単位)	17,355	19,280	16,473				
達成度 (%)	69.4%	77.1%	82.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標 9	相模原球場
指標名 (単位)	相模原球場グラウンド利用件数(件)
指標式と指標の説明	達成度＝実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※実績件数は1コマ(2時間)を1件としてカウントする。 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (単位)	600	800	800	880	960	1,050	1,100
実績値 (単位)	859	803	706				
達成度 (%)	143.2%	100.4%	88.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標 1 0	相模原球場
指標名 (単位)	相模原球場グラウンド来場者数(人)
指標式と指標の説明	達成度＝実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※専用利用時の利用者数(観客数含む)。 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (単位)	100,000	80,000	80,000	84,000	88,000	92,500	97,100
実績値 (単位)	88,537	74,017	83,029				
達成度 (%)	88.5%	92.5%	103.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標 1 1	相模原球場
指標名 (単位)	相模原球場体育室専用利用件数(件)
指標式と指標の説明	達成度＝実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (単位)	300	350	350	360	365	370	375
実績値 (単位)	357	361	320				
達成度 (%)	119.0%	103.1%	91.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標 1 2	相模原球場
指標名 (単位)	相模原球場体育室一般利用者数(人)
指標式と指標の説明	達成度＝実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※実績件数は1コマ(2時間)を1件としてカウントする。 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (単位)	8,000	9,000	9,000	9,100	9,200	9,300	9,400
実績値 (単位)	9,442	9,769	7,917				
達成度 (%)	118.0%	108.5%	88.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標 1 3	大野台南テニスコート
指標名 (単位)	テニスコート利用件数(件)
指標式と指標の説明	達成度＝実績件数(又は人数)÷目標件数(又は人数)×100 ※実績件数は1コマ(2時間)を1件としてカウントする。 ※目標数値は、前年度までの実績を基に市と協議の上、指定管理者が自主的に設定することができる。

項目 (単位)	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値 (単位)	5,000	5,000	5,000	5,100	5,150	5,200	5,250
実績値 (単位)	5,053	5,121	4,566				
達成度 (%)	101.1%	102.4%	91.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	グループ全体的に施設の特徴を生かし、利用者のニーズを掴めていることは評価できる。緑化事業やフラダンス教室など幅広い世代を対象に事業を開催でき、また浅田真央サクスツアーや第9回東日本大震災復興支援チャリティーマッチは、施設の知名度の向上に寄与した。

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
(なし)	—	—	

自主事業

淵野辺公園

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
寄せ植え教室	6/13 (全1回)	ガーデニングの基本的な知識や特殊な苗に対する知識を学ぶ教室(3名参加)	○
公園スタンプラリー	12/1~2/28	公社管理公園のうち、ウォーキング、散策等で利用される7公園(横山・鹿沼・淵野辺・相模原麻溝・相模原北・相模湖林間・津久井又野)のスタンプラリー(700名参加)	○

自主事業

相模台公園

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
緑化推進事業花壇づくり	11/6~11/9 (全3回)	花壇の手入れをするボランティア活動 (9名活動 * 1回参加で1名)	○
紙芝居等の上演	4/2、10/23 (全2回)	未就園児を対象とした紙芝居等の上演(協力:絵本等の読み聞かせボランティア団体「おはなしレストラン」)(17名参加)	○

自主事業

古淵鵜野森公園

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
ジュニアライフセーバー講座 (対象:高校生を除く18歳以下)	7/20	救助方法、AED、及び心肺蘇生の指導(25名参加)	○
夏休みプールスタンプラリー	7/15~8/31	スタンプラリー(古淵鵜野森プール、こだまプール、銀河アリーナ、市民健康文化センター、北の丘センター)を実施し、先着500名に粗品をプレゼント(117名参加)	○
森の小さな博物館	5/16~5/20 11/14~11/18	境川斜面緑地の豊かな自然風景や動植物の写真やカラーズの展覧会(協力:斜面緑地を守る会)(607名参加)	○

自主事業

銀河アリーナ

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
早朝スケート	4、10~2月	初心者から上級者までを対象とし、技能に応じてクラス分けをして指導した。(4,277人参加)	◎
ハワイアンフラダンス教室	7月~10月 1月~2月	ハワイアンミュージックを使用した基本的なフラダンス教室。(50人参加)	○
浅田真央サクスツアー	10月	世界的に有名なスケーターである浅田真央さんのアイスショーを実施。(11,380人参加)	◎

自主事業		相模原球場		
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価	
初心者卓球教室	1/8～2/26 /1月～3月	卓球を始めたい方や初心者の方を対象にした教室。〈14人参加〉	◎	
走り方教室	9月	小学生を対象に走るという動作を使い身体操作能力を向上を目指す教室。〈19人参加〉	○	
第9回東日本大震災復興支援チャリティーマッチ	12月	国内外のプロ野球選手による試合と子どもへの野球教室。〈600人参加〉	◎	

自主事業		大野台南テニスコート		
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価	
(なし)			○	

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	令和元年度よりインターネットからの回答を可能としたため、例年よりも幅広い利用者の要望を聞くことができたことは評価できる。また、満足度も約9割と高い水準であったことは評価できるが、一方で、例年よりもやや満足度が減少したことは事実であるため、今後に期待したい。

利用者満足度調査	※実績値は6施設分の平均値
調査手法/サンプル数	アンケート用紙への記入、WEBによるアンケート/2,513人(各施設年間2回実施合計)
目標値の基準	5段階評価のうち「とても良かった」「良かった」と回答した方の割合の合計

項目（単位）	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標値（%）	90.0	90.0	92.0				
実績値（%）	92.8	92.7	89.7				
達成度（%）	103.1%	103.0%	97.5%				

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
お客様ご意見箱の設置	常時	管理事務所において「お客様ご意見箱」を設置
ホームページの活用	常時	ホームページにおいて「お問い合わせフォーム」を設置

6 施設の経営状況

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
B	団体本体の経営状況に特段の課題はないが、施設の収支状況は全体収支、自主事業収支ともにマイナスとなっていることから、B評価とする。なお、令和元年度においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、施設を約1か月間閉鎖したことにより、テニスコート利用者や銀河アリーナでのスケート利用者が減少したことがマイナスの主な要因となった。

施設の収支概要		※直近3年間について記載		
項目		平成29年度	平成30年度	令和元年度
収入（a）		402,211	396,698	387,659
	指定管理料	251,827	256,752	265,548
	利用料金収入	150,280	139,946	122,111
	その他の収入	104	0	0
支出（b）		434,133	436,267	433,389
	人件費	178,978	175,730	170,377
	本社管理経費	14,251	13,231	18,062
	その他の支出	240,904	247,306	244,950
本体事業収支 【(a)-(b)】(c)		-31,922	-39,569	-45,730
自主事業収入（d）		53,322	50,094	33,872
自主事業支出（e）		31,281	26,962	17,791
自主事業収支 【(d)-(e)】(f)		22,041	23,132	16,081
全体収支 【(c)+(f)】		-9,881	-16,437	-29,649
備考				

団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年9月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	加点事由有(下記のとおり)
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	加点事由有(下記のとおり)
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	職員がスキルアップする研修を受講し、樹木管理や施設修繕などの公園管理に役立っている。相模原球場のファールゾーンへの芝生の敷伸ばしや、プレー定位置の芝の張替え、日常的な芝の管理など、市内最大の野球場としての管理体制は高く評価できる。	

8 指定管理者の自己評価

淵野辺公園グループでは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2月末日以降、施設の営業を取りやめたため利用者数や利用料収入等については前年度と比較して大幅な減少での着地となってしまいました。施設の維持管理においては、樹木管理の強化、設備のリニューアルや修繕などを積極的に行い、利用者満足度の向上を図ってまいりました。当グループでは重機の運転免許や伐木に関する特別教育受講者の配置を増やし、有事の際に速やかに対応できる危機管理体制を整えてまいりました。昨年の台風上陸の影響で発生した倒木を重機を用いて職員で速やかに復旧させるなど、維持管理における迅速な対応を可能としております。

また、テニスコートへの券売機の新規設置やトイレ照明の一部LED化、駐車場の白線再塗装など利用者の利便性向上・施設の長寿命化を目的とした対応を実施してまいりました。また、市民のスポーツへの関心を高めるための事業として当該年度も国内プロ野球経験者や米・独立リーグ選手などが試合と野球教室を通じてチャリティーを行う

「チャリティーマッチ」を実施しました。当該イベントはYoutubeを通じて生配信することや有名YouTuberとコラボレーションし、数十万回の再生数を記録しています。このほかにも銀河アリーナでは好評であった「浅田真央サンクスツアー」の再誘致に成功し、2回目の開催を行うことができました。アイスショーの実施された3日間で1万人以上の方が銀河アリーナを訪れました。このように、淵野辺公園グループでは施設の維持管理において積極的な設備修繕・更新を行い、利用者の利便性を高めることに力を注いでまいりました。イベントについても指定管理者独自で行うものだけでなく、有名プロモーターと連携し、大規模イベントの実施に成功するなど、淵野辺公園グループの魅力を発信することができたと考えております。

9 所管課意見

新型コロナウイルス感染症の影響により、冬季に集客が見込める銀河アリーナの利用料金収入が大幅に減少したこともあり、グループ収支は悪化が見られた。しかし、利用者の利用率、満足度から見ても、利用者の快適なスポーツ活動の場の提供に資することができており、適切な管理運営がなされていると言える。また、自主事業においては銀河アリーナ、相模原球場で大規模なイベントを開催でき、知名度の向上や施設の活性化に繋がる、施設の特性を活かした事業を数多く展開しており、参加者からの評価も好評であることがうかがえる。今後も利用者ニーズを捉えながら、利用者の健康維持に寄与し、スポーツ活動の場を多く提供できるよう尽力していただきたい。

10 選考委員会意見

・1年間を通しよい運営をしていただいたと思うが、新型コロナウイルスの影響を大きく受けたこともあり、点数化すると厳しい評価となってしまった。

・雇用調整助成金等を活用するなど工夫が必要である。

・屋外施設は天候などの影響を大きく受けてしまい運営が大変ではあるが、特に新型コロナウイルスにより、身近な屋外施設を必要としている人が多いと思うため、今まで以上に安全対策を講じたうえで運営をしていって欲しい。

・銀河アリーナでのアイスショーや野球場でのチャリティーマッチ等大きな事業もあり評価できる。野球場は利用率が低いため、市民ニーズを捉え施設の特性や可能性を発掘し、市民の健康増進やスポーツを始めるきっかけづくりなど、スポーツ人口裾野を広げる事業を展開し、利用率を維持していただきたい。

総合評価（自動判定）

B

(60/100)

